



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員異動
- 学会関連カレンダー
- 編集委員会企画ランチョンセミナーのお知らせ
- 技術士試験対策セミナー
- 第41回大会での託児室の申込みについて
- 平成29・30年度日本農薬学会役員選挙について

平成27年度第3回常任評議員会議事録

日 時：平成27年9月5日（土）13:00～15:20

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：会長，副会長，常任評議員計13名（欠席2名）

議 事：

I. 平成27年度第2回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

1. 財務関係

- ・平成27年度収支の現状（1月1日から8月31日まで）について報告があった。
- ・前期分について公認会計士による監査が実施された旨の報告があった。

2. 編集委員会

- ・JPS第40巻4号と和文誌2号と，和雑誌41巻1号の発行について報告があった。

3. 環境委員会

- ・平成27年度の残留農薬分析セミナーの開催予定について説明があった。
- ・農薬の理解促進WGの活動状況について報告があった。

4. 将来計画委員会

- ・活動状況について報告があった。
- ・学術小集会との連携，農業理解度促進WGのバックアップ，都道府県試験場の学会員の学会誌への投稿促進等を検討している。

5. ホームページ委員会

- ・活動状況について説明があった。

6. 学会賞受賞者選考委員会

- ・平成28年度の日本農薬学会賞の候補者の選考状況について報告があった。
- ・第2回選考委員会は10月5日に開催予定。

7. 技術士育成推進委員会

- ・第41回大会で開催する技術士試験対策セミナーの講師について協議した。

8. 植物保護科学連合

- ・平成27年度の日本学術会議シンポジウム（11月4日開催予定）のスケジュールについて報告があった。

9. 農学会関連

- ・平成27年度第2回運営委員会についての報告があった。
- ・平成28年1月22日に日本農学会評議員会が開催予定。

10. 学術小集会関係

- ・学術小集会との懇談会に向けて，検討課題を整理した。

11. 研究会等の協賛について

- ・平成27年10月22日（木），23日（金）にロワジュールホテル豊橋（愛知県豊橋市）で開催予定の第32回製剤と粒子設計シンポジウムを協賛することを承認した。

12. 農業科学研究奨励金について

- ・平成28年度農業科学研究奨励金の公募スケジュールを確認し，審査方法について検討した。

13. 海外渡航費補助について

- ・ポルトガルで開催予定の1st PTIM国際会議への参加に1名の申請があり，補助することを決定した。

14. 40周年記念事業について

- ・40周年記念事業費の収支経過について報告があった。
- ・記念寄稿の依頼に関する報告があった。

15. 第41回大会関係

- ・大会の準備状況について説明があった。
- ・託児所の開設に関する検討した。

16. 入退会の報告(平成27年7月16日~平成27年8月31日)
- ・入退会が承認された。入会は正会員7名、海外会員1名、退会は正会員4名、学生1名。
17. その他
- ・農薬工業会から、「農薬についてもっと知ってもらう教育活動」奨励金の応募について説明があった。
 - ・創立50周年を迎える植物化学調節学会の学会誌に、農薬学会から記念レビューを寄稿することが報告された。

第194回常任編集委員会 議事要旨

日 時：平成27年11月7日(土)14時~16時30分

会 場：東京農工大学 農学部2号館4階会議室

出席者：7名 欠席者：9名

議 事：

1) 投稿細則の改正

投稿細則の一部修正について議論し、改正案を3月の編集委員会に諮り、総会で報告することとした。

2) 学会誌の充実について

将来計画委員会と常任評議員会での議論の概要について報告・説明があり、議論した。

3) 読み物企画について

今後の読み物企画について議論した。

4) 投稿・審査状況

2015年の投稿・審査状況について、資料に基づき説明があった。

5) 学会誌の発刊予定

JPS 40巻4号(11月20日発行予定)について幹事校正を行い、発行に向けての最終作業中である旨の報告があった。農薬誌 41巻1号(2月20日発行予定)の掲載内容の予定について説明があった。

学会誌が発行された際に、お知らせメールでコンテンツを配信してはどうかの意見があった。

6) 論文へのアクセス状況

J-STAGEへのアクセス状況について説明があった。

7) その他

総説についての掲載問合せが2件あり、1件を受け付けることとした。

合成の論文の化合物データをどの程度論文に掲載するかについて議論した。

冊子体の発送方法について、希望者のみに発送することや冊子体の作成を取りやめることについて議論し、引き続き検討することとした。

今年度の海外渡航費の助成金受領者に報告書を学会誌に投稿するよう依頼することとした。

平成28年度日本農薬学会賞の決定

学会賞受賞者選考委員会で選考された奨励賞、業績賞(研究・技術)の受賞候補者について、評議員(会長、副会長を含む)による無記名投票を行った結果、受賞者が下記の通り決定された。また、編集委員会から推薦され学会賞受賞者選考委員会で選考された論文賞候補についても評議員(会長、副会長を含む)による無記名投票を行い、受賞論文が決定された。

奨励賞

- ・平田晃一氏：神経系作用化合物の作用機構に関する研究(日本曹達(株))
- ・謝 肖男氏：根寄生雑草種子発芽刺激物質の構造解析研究(宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター)

業績賞(研究)

- ・夏目雅裕氏：微生物の生長や分化に関わる生理活性天然物の研究(東京農工大学大学院農学研究院)

業績賞(技術)

- ・佐伯 学氏、矢野哲彦氏、中屋潔彦氏、玉田佳丈氏(日産化学工業(株))：水稲用除草剤「メタゾスルフロン」の開発
- ・中谷昌央氏、山地充洋氏、本田久志氏、内田幸生氏((株)ケイ・アイ研究所、クミアイ化学工業(株)、イハラケミカル工業(株))：畑作用除草剤「ピロキサスルホン」の開発
- ・木戸庸裕氏、沖田洋行氏、岡村充康氏、竹内 崇氏、森田健氏(北興化学工業株式会社)：水稲用除草剤「イプフェンカルバゾン」の開発

論文賞

- ・Takahiro HAMADA, Mineko ASANAGI, Tomomi SATOZAWA, Natsuko ARAKI, Shinichi BANBA, Norikazu HIGASHIMURA, Tomohisa AKASE, Kangetsu HIRASE: "Action mechanism of the novel rice blast fungicide tolprocarb distinct from that of conventional melanin biosynthesis inhibitors" 39, 152-158 (2014)

平成28年度日本農学賞の決定

学会賞受賞者選考委員会で選考され当学会より推薦した日本農学賞受賞候補者について、日本農学会評議員会(平成28年1月22日)において日本農学賞受賞が決定した。

日本農学賞

安藤 哲氏：昆虫行動制御物質の生物有機化学的研究と害虫防除への展開

日本学士院会員

名誉会員 森 謙治先生(東京大学名誉教授、東洋合成工

業(株)顧問, 国立研究開発法人理化学研究所客員主管研究員)は, 日本学士院(杉村 隆院長)の新会員に選ばれました(平成27年12月14日). 謹んでお慶び申し上げます.

会 員 異 動

(平成27年9月1日~平成27年11月30日)

入 会

正会員

矢野 哲彦 河合 祐子 三浦 亮太 本田 義成
猿渡 耕典 石原 一樹 内田 幸生 高橋 京子
加茂 智浩 中井 啓陽 柳 真一

学生会員

松原王起也 奥村 泰子 井上 真依 吉原 彩華
嶋谷 美香 鈴木 柊吾 平野 和希 Das, Prajwalita
(受付順)

退 会

正会員

中馬 寛 多田 俊治 高木 和裕 本橋 恒樹
小川 宗和 田中 啓介

学生会員

神保 崇子

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催, 共催, 協賛する会議等

2016年

3月

17日(木)~19日(土) 日本農薬学会第41回大会

主 催: 日本農薬学会

会 場: 島根大学 [〒690-8504 島根県松江市西川津町
1060]

U R L : <http://pssj2.jp/congresses/thisyear.html>

18日(金) 農薬バイオサイエンス研究会(第41回大会との共催)

主 催: 日本農薬学会 農薬バイオサイエンス研究会

会 場: 島根大学 [〒690-8504 島根県松江市西川津町1060]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/bioscience.html>

4月

22日(金) 第33回農薬生物活性研究会シンポジウム

主 催: 日本農薬学会 農薬生物活性研究会

会 場: 東京農業大学

U R L : <http://pssj2.jp/committee/bioactivity.html>

6月

20日(月)~24日(金) 11th International Symposium on Adjuvants for Agrochemicals (ISAA 2016)

主 催: International Society for Agrochemical Adjuvants

会 場: Monterey Conference Center [One Portola Plaza Monterey, CA 93940]

U R L : <http://events.isaa-online.org/page/269/welcome-to-isaa-2016.html>

7月

4日(月)~6日(水) 第43回BMSコンファレンス

主 催: 日本質量分析学会 BMS研究会

会 場: ホテルニューアカオ [〒413-8555 静岡県熱海市熱海1993-250]

U R L : <http://www.mssj.jp/society/branch/bms/bms43.html>

10月

6日(木)~7日(金) 第36回農薬製剤・施用法シンポジウム

主 催: 日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会

会 場: 神奈川県民ホール [〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町3-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/formulation.html>

10月

13日(木)~14日(金) 第39回農薬残留分析研究会

主 催: 日本農薬学会 農薬残留分析研究会

会 場: イーグレひめじ [〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-290]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanry39.html>

11月

10日(木)~11日(金) 第34回農薬環境科学研究会

主 催: 日本農薬学会 農薬環境科学研究会

会 場: ルミエール府中市市民会館 [〒180-0055 東京都府中市府中町2-24]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/environment.html>

11月

16日(水)~17日(木) 第31回農薬デザイン研究会

主 催: 日本農薬学会 農薬デザイン研究会

会 場: 京都大学医学部創立百周年記念施設「芝蘭会館」
[〒606-8315 京都府京都市左京区吉田近衛町]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/design.html>

編集委員会企画ランチョンセミナーのお知らせ

編集委員長と話そう！

～初めての論文投稿で気を付けるべきポイントは？～

日本農薬学会編集委員会では、若手研究者による学会誌への論文投稿を支援するため、3月に島根大学で開催される第41回日本農薬学会大会において、以下のようなランチョンセミナーを企画しました。主に学会誌への投稿経験がない若手研究者の皆様にお集まりいただき、論文の執筆から投稿、審査、掲載に至る過程で気を付けて欲しいポイントを解説します。また、編集委員長との意見交換を通して、投稿に関する不安や疑問を解消していただきたいと思います。論文投稿に向けて一歩を踏み出したい方々、奮って御参加ください。

記

- 1 日時：平成28年3月18日（金）12:30～13:30
- 2 場所：島根大学松江キャンパス 第41回日本農薬学会大会 ランチョンセミナー会場
- 3 募集人数：40名（先着順，当日朝から総合受付周辺でチケットを配布します。）
- 4 内容
(1) 講演：「編集委員長と話そう！～初めての論文投稿で気を付けるべきポイントは？～」
演者：日本農薬学会編集委員長 東京農工大学大学院 教授 夏目雅裕
(2) 参加者と編集委員長との意見交換

編集委員長 夏目雅裕

技術士試験対策セミナー

平成28年3月17日（木）から19日（土）に京都大学にて開催される日本農薬学会第41回大会において、技術士試験対策セミナーを開催致します。プログラムが下記のように決まりましたので、御案内致します。

日時：3月19日（土）12:30～13:30

場所：島根大学（松江キャンパス）・教養講義室棟2号館3階603教室（G会場）

プログラム：

1. 制度と試験 12:30-12:40
橋本良子（技術士育成推進委員会委員，首都大学東京）
2. 合格体験談 12:40-13:05
今瀧博文（シンジェンタジャパン株式会社）
3. 合格体験談 13:05-13:30
豎石秀明（株式会社クレハ）

★募集人数：50名（セミナー当日の朝8:30から，受付付近で配布します。奮ってご参加ください。）

このセミナーには、日本農薬学会会員以外に、植物保護関連学会（日本植物病理学会，日本応用動物昆虫学会，日本雑草学会，日本植物化学調節学会）の会員であれば無料（セミナーのみに参加の場合）で参加できます。また，日本農薬学会会員の方は，関連学会（日本植物病理学会，日本応用動物昆虫学会）の大会で開催されるセミナーに無料で参加することができます。日本農薬学会大会に参加予定の無い方，日程等ご都合が合わない方はご利用下さい。関連学会でのセミナーにご参加の場合は，日本農薬学会誌封筒（会員番号とご氏名が明示されているもの）をご持参の上，会場でご呈示下さい。なお，関連学会の当該セミナー参加のみ無料で，大会に参加をご希望の場合は別途大会参加費等が必要になりますのでご注意ください。

以下の関連学会の予定です。

日本植物病理学会

日時：平成28年3月21日（月）～3月23日（水）

場所：岡山コンベンションセンター

日本応用動物昆虫学会

日時：平成28年3月26日（土）～3月29日（火）

場所：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス

第41回大会での託児室の申込みについて

お子様をお持ちの会員の方々に安心して年次大会に参加していただくために、乳幼児を含む未就学児童から小学生（3ヶ月～12歳）までのお子様を大会期間中にお預かりする託児室（無料）を設置いたします。ご利用には事前の申込と手続きが必要です。託児室の利用をご希望の方は、学会ホームページをご参照いただき、利用規約をご確認の上、利用申込書を記載の宛先まで郵送またはファックスかメール添付ファイルでお申し込みください（申込期限は延長致します）。

ご質問などは、第41回大会組織委員会または学会事務局までお願いいたします。

平成29・30年度日本農薬学会役員選挙について

平成28年10月に平成29・30年度日本農薬学会役員選挙が実施される予定です。インターネットを利用して投票するWeb投票システムが導入されますが、インターネット環境が整っていない会員は、これまで通り、投票用紙の郵送による投票を行うことができます。詳細につきましては、選挙管理委員会発足後に、メールまたは郵便にてご連絡致します。また、次号ニュースレターでもお知らせ致します。なお、本会規定により、本年5月31日の時点で今年度の会費を納入していない方には選挙権・被選挙権が認められませんので、会費を払われていない会員の皆様には会費納入を5月末までに済ませて下さいますようお願い致します。

大会が開催される松江には宍道湖七珍という汽水の魚介類がある。中でも春は季語でもある蜆と白魚が旬で、いずれも有名な産地である。大都市圏でも白魚は高級な寿司ネタとして軍艦巻きで供され、春を感じさせてくれる。読みはシラウオで、躍り食いで有名な博多の白魚（シロウオ）とは名前も見た目も似ているが、まったく別の種類で、こちらは足が速い。どちらも産卵の遡上らしいが、やはり春には生き物が活発になり、畑でも啓蟄らしく細かな虫たちが蠢き、新たな一年の始まりを思わせる。研究でも四季と連動した分野は意気揚々だが、季節感ない分野でも春の躍動が成果に乗り移ることを願う。

今号では、大会関連の案内のほか来年度の学術小集会等の予定などが掲載されている。今後の計画に加えていただきたい。

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp